金沢大学・明治大学 主催

公開シンポジウム

輸出漆器をめぐる文理融合の可能性

日時 2018年2月10日（土） 12：30～16：30
（11:30開場）

聴講：無料
申込：不要

場所　明治大学 紫紺館 4階 S5～7会議室
（千代田区神田駿河台1-1　明治大学駿河台キャンパス）

大航海時代から世界に広がったアジアの漆文化。安土桃山時代から非常に多くの漆器が海を渡り、ヨーロッパの国々へと持ち込まれました。スペイン・ポルトガルをはじめ、スウェーデン王国でも近年新たな南蛮漆器が発見されるなど話題となっています。
今回スウェーデンから専門家を招き、輸出漆器の調査に取り組む研究の紹介を通して、文理融合研究の可能性を模索するとともに、今後求められる取り組みなどを考えます。

1. **開会のご挨拶＆趣旨説明**　（金沢大学）神谷 嘉美

2. **研究報告**
「ヨーロッパに伝わる日本の輸出漆器―南蛮漆器の謎にせまる」
（東京文化財研究所）小林 公治
「南蛮漆器を彩る漆芸技法と材料調査の手法」
（金沢大学）神谷 嘉美

3. **基調講演**　Maria Brunskog　（ウプサラ大学〈スウェーデン〉）
"History and culture of Swedish Namban lacquerwares"
【日本語への逐次通訳あり】　松原美智子

4. **研究報告**
「スエェーデンに伝わる南蛮漆器の科学分析」
（明治大学）宮腰 哲雄

5. **質疑応答**

＊懇親会は事前申し込みが必要となります。メールタイトルを「2/10懇親会参加希望」として送ってください。2月7日以降は若干名まで受け付けできますが、メールにてお問い合わせください。

会場：明治大学アカデミーコモン「カフェ　パンセ」、　会費：4000円

【連絡先】明治大学理工学部応用化学科　本多研究室
e-mail: t-honda@meiji.ac.jp／ FAX：044-934-7212

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY